

特色のあるため池の紹介

名 称		所 在 地	
たまむしぬま 玉虫沼		山形県東村山郡山辺町大蔵	
貯 水 量	受益面積	堤 高	堤 頂 長
527 千m ³	158 ha	12.3 m	185.8 m

ため池の紹介文

玉虫沼は山形県中央に位置する山形盆地西側の丘陵地にあり、今から約600年前の応永年間（14世紀末）からかんがい用に使用された県内最古のため池とされています。ため池東側の堤体付近から突き出た岬には玉虫大明神の祠が祭られており、その近くにはため池のシンボルとも言うべき「笠松」（樹齢300年のアカマツ）が植えられています。また近くの城に住んでいた「玉虫姫」が沼に身を投げたという悲しい民話も残されており、平成22年にため池百選に選定されました。

ため池の水は近くの小鶴沢川に流下し玉虫用水として平野部に行き渡り、江戸時代には280haに及ぶ水田がかんがいされていました。その後宝暦12年（1762年）の大修復をはじめ幾度となくため池の改修が行われ、昭和40・41年及び昭和53年～62年の改修により近代的な施設に整備され、現在も山辺町の農地約160haを潤すほか、地元集落の飲料用水としても使用されています。

ため池を中心とした一帯は「山辺西部湖畔自然休養村」に指定されており、ため池を巡る周遊道などを備えた公園が整備されて、自然に親しめるレクリエーションの場となっています。またヘラブナの釣り場としても有名で県内はもとより、県外からも愛好者が訪れるなど、多くの人に親しまれています。

今後もため池を管理する最上川中流土地改良区や地元有志により維持管理、環境保全活動が続けていきます。

ため池の写真



玉 虫 沼